

令和 2 年度
市民自治を考える市民ワークショップ
報告書

令和 3 年 3 月

札幌市市民文化局市民自治推進室

目 次

第 1 章. 開催概要	1
1. 目的	1
2. 概要	2
第 2 章. ワークショップの企画・運営	3
1. ワークショップのテーマ	3
2. 参加者への案内	3
3. 当日のプログラム	3
4. グループワークの流れ	4
5. 新型コロナウイルス感染症防止対策	5
6. 当日のようす	6
第 3 章. ワークショップの結果	8
1. グループワーク 1 のまとめ	8
2. グループワーク 2 のまとめ	11
第 4 章. 参加者アンケート	17
1. 実施概要	17
2. アンケート調査結果	17
資料編.	23
参加についてのご案内	25
会場配置図	28
当日説明スライド	29
グループワーク 1 各グループ意見のまとめ	37
グループワーク 2 各グループ意見のまとめ	43
各グループのワークシート（写真）	52
アンケート調査票	57

第 1 章. 開催概要

1. 目的

- 札幌市では、市民が主役のまちづくりを進めるための基本的なルールである「札幌市自治基本条例」を定め、平成 19 年 4 月に施行した。市民が主役のまちづくりを実現するためには、市民の皆さまにまちづくりに参加していただくことが必要不可欠であり、自治基本条例においても「市民参加」を重要なものとして位置付けている。
- 本業務は自治基本条例第 31 条*の規定に基づき、札幌市の施策等が条例の趣旨に沿って整備・運用されているかどうかを評価するために、市民の意見を聴き、参考とすることを目的とする。
- ワークショップでは、今後より多くの市民の皆さまに、自発的かつ主体的に市政に参加していただくために、行政はどのような取組をすべきか、市民の皆さまができる取組・活動にはどのようなものがあるかということについて、ワークショップ形式で話し合い、市民参加をより活発にするためのアイデアや意見を共有しながら、これからの札幌の市民参加のあり方について考えることを目標とする。
- ワークショップの成果は札幌市「市民自治推進会議」における検討の材料として活用するとともに、札幌市における今後の施策・取組検討・企画立案の参考として活用される。

札幌市自治基本条例

第 31 条 市は、市民自治によるまちづくりに関する施策又は制度がこの条例の趣旨に沿って整備され、又は運用されているかどうかを評価し、必要な見直しを行うための仕組みを整備しなければならない。

2. 概要

本ワークショップの開催にあたっては、会場入口での検温、消毒液の設置、「密」にならない座席配置、参加者・関係者のマスク・フェイスシールドの着用、常時換気を行うことにより、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で実施した。

(1) 参加者選出の方法

□日頃、市政への参加機会が少ない方にも広く参加いただくことを目的として、住民基本台帳から無作為に抽出した 2,000 名の市民に参加案内を行った。

□2,000 名のうち、50 名の方から応募をいただき、抽選にて 33 名を抽出した。

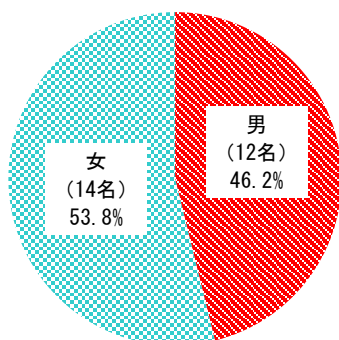
□その後、体調不良や当日の悪天候の影響などにより、当日参加者は 26 名となった。

(2) 実施概要

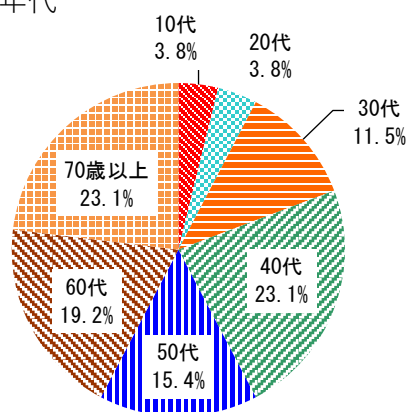
開催日時	令和 3 年 2 月 27 日（土） 13:00～16:00
会場	札幌市教育文化会館 4 階 研修室 403 札幌市中央区北 1 条西 13 丁目
参加人数	26 名（4～6 名の 5 グループに分かれて実施）
参加者謝礼	3,000 円

(3) 参加者の属性

①性別



②年代



③性別と年代の内訳

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
男性	1	1	0	3	2	3	2	12
女性	0	0	3	3	2	2	4	14
合計	1	1	3	6	4	5	6	26

第2章. ワークショップの企画・運営

1. ワークショップのテーマ

「市政への市民参加の促進」について考えよう！

2. 参加者への案内

当日のより積極的な参加につながるよう、参加が決定した市民に向けて、郵送にて「当日の案内」（資料編に掲載）と札幌市のパンフレット「市民が主役 札幌市のまちづくり」*を送付しワークショップの進め方についてご案内した。

*「市民が主役 札幌市のまちづくり」

https://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/kihon/jorei-pamphlet/documents/machizukuri_pamphlet.pdf

3. 当日のプログラム

1. 開会・主催者挨拶 [5 分]
2. ガイダンス（説明） [35 分]
 - ☐ このワークショップの位置づけ・目的等について
 - ☐ 「市政への市民参加」に関する情報提供
 - ☐ ワークショップの進め方
3. グループワーク [100 分]
 - ☐ アイスブレイク「つながる自己紹介」 [10 分]
 - ☐ グループワーク 1 [35 分]
 - ～まちづくりのために「やりたいこと」「意見」を出し合おう！
 - ☐ グループワーク 2 [35 分]
 - ～市政への市民参加促進のための取組を出し合おう！
 - ☐ グループワーク 3 [20 分]
 - ～「取組」「心がけ」を評価しよう！
4. グループ発表 [30 分]
5. 主催者挨拶・閉会 [5 分]

4. グループワークの流れ

〔開会・主催者挨拶〕

〔ガイダンス(説明)〕 目的・進め方の共有

「市政への市民参加」に関する情報提供

アイスブレイク「つながる自己紹介～最近まちが良くなったと感じたこと」

☐ 自己紹介を兼ねて「前と比べて札幌のまちが良くなったな」と感じたことを発表。

☐ 次の人は、前の人の発表内容に一言コメントした後に、同様に自己紹介。

グループワーク1. まちづくりのために「やりたいこと」「意見」を出し合おう！

<目標> 参加者各人の具体的な関心事項を整理し、グループで意見を共有しながら、市政参加への観点を具体的に考える基盤とする。

<進め方>

- ①自分が興味のある「まちづくりの分野」〔 〕の付箋に書き出し
- ②「やりたいこと」「意見したいこと」〔 〕の付箋に書き出し
- ③グループ内で各人が発表。テーブルマスターが付箋を模造紙上に貼り出し。
- ④ファシリテーターとグループで付箋を模造紙上で整理する。

グループワーク2. 市政への市民参加促進のための取組を出し合おう！

<目標> グループワーク1での観点を基盤にしながら、市民参加促進のための取組について具体化し、深めていく。

<進め方>

- ①グループワーク1で出されたような意見を市が聞くためには、市はどんな取組・工夫を行えば良いか。〔 〕の付箋に書き出し
- ②市民はどのようなことを心がけるべきか。〔 〕の付箋に書き出し
- ③グループ内で各人が発表。テーブルマスターが付箋を模造紙上に貼り出し。
- ④ファシリテーターとグループで付箋を模造紙上で整理する。

グループワーク3. 「取組」「心がけ」を評価しよう！

<目標> グループワーク2で整理した取り組みの効果について評価すること

<進め方>

- ①1人3票のシールを持ち、最も効果のあると考えた同種の意見のグループ（島）または単独の意見に－1表ずつ投票する。
- ②シールの数を参考にしながら、グループで話し合っって効果が高そうなベスト3を決定する。

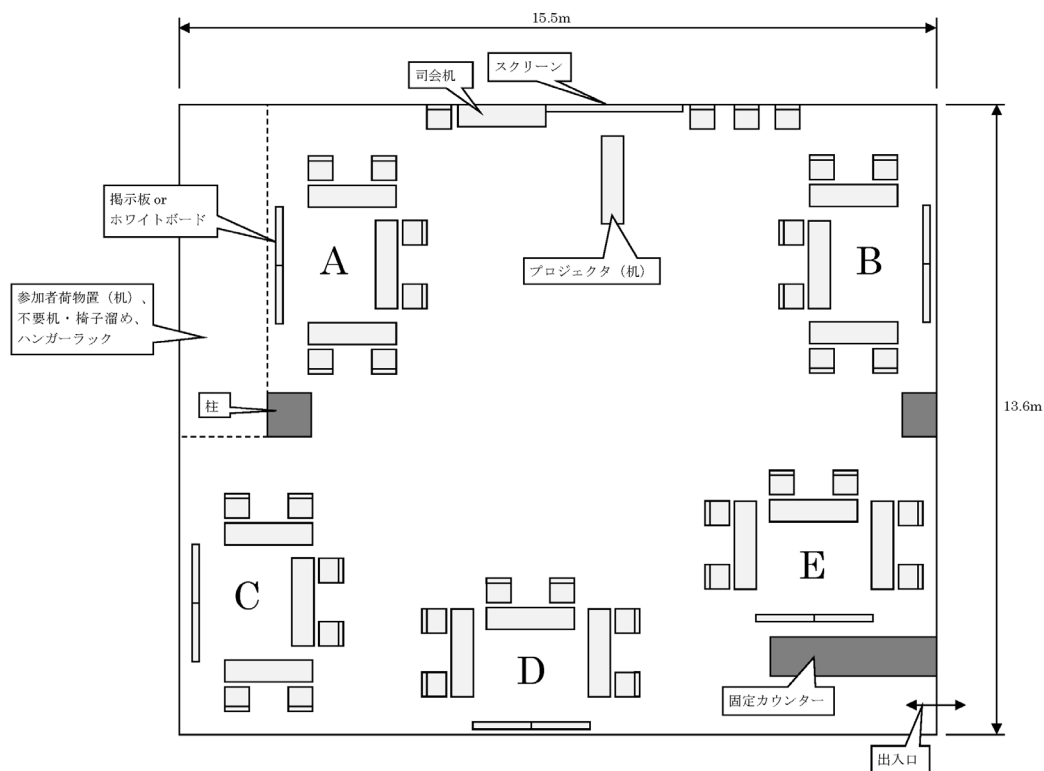
グループ発表：ベスト3を中心にグループの意見を紹介し、会場で共有する。

まとめ、主催者挨拶、閉会

5. 新型コロナウイルス感染症防止対策

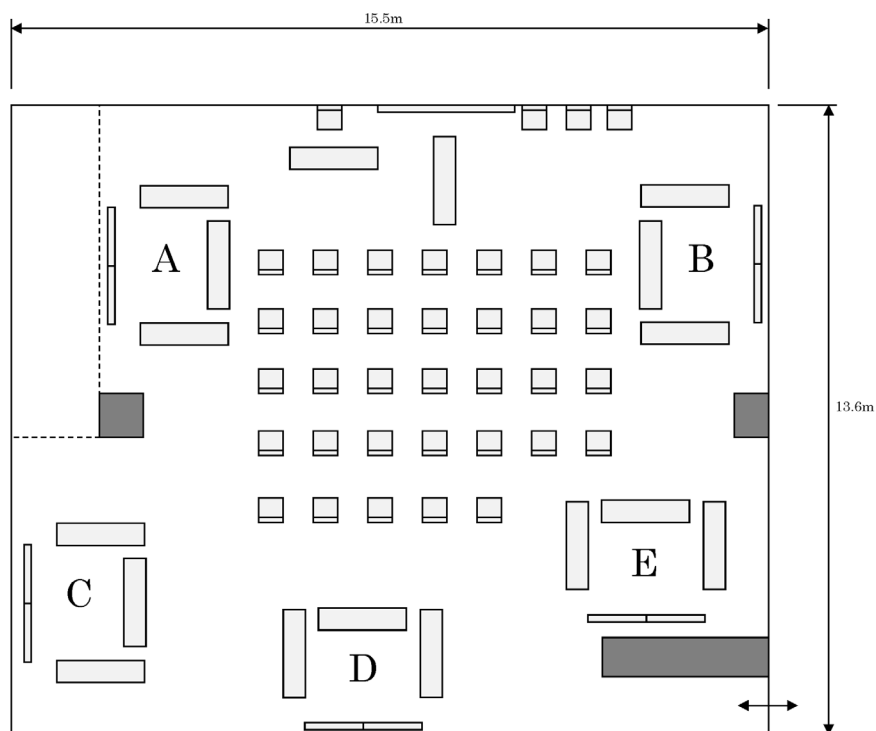
新型コロナウイルス感染症防止対策については、検温・常時換気・アルコール消毒・マスク・フェイスシールド装着といった基本的な対策の他、運営においても以下の配慮を行った。

<グループワーク時>



- 1 グループ6名以下。
- 1 つのテーブルの両端に1名ずつ着席(2名まで)。
- 各グループの距離をあけ、壁面に向けて設置。
- 付箋・ペンは事前に消毒を行い、共有せず個人が使用する。
- 付箋の模造紙への張り出しは参加者からテーブルマスターが受け取り貼り出し。
- 模造紙上での作業はテーブルマスターのみが実施。

<ガイダンス時(初期配置)>



- 座席は離して設置。
- 座席は固定。グループワーク時には椅子を持ってテーブルまで移動。

6. 当日のようす



Photo01 全景



Photo02 開会挨拶



Photo03 説明、情報提供



Photo04 アイスブレイク



Photo05 グループワーク



Photo06 グループワーク



Photo07 グループワーク



Photo08 グループワーク



Photo09 シール投票



Photo10 シール投票



Photo11 グループ発表



Photo12 グループ発表



Photo13 グループ発表(模造紙)



Photo14 閉会挨拶